

# 湿度と体感温度の関係

小平市立小平第十三小学校  
6年 平島 唯

## 1. 研究の動機

暑い日が続いていた。そこで、同じ気温で少しでも涼しく過ごせる方法がないかと考えたとき、雨の日の翌日によくジメジメしていて暑いと感じたけれど、気温はあまり高くなかった事があったのを思い出した。ジメジメしているという感覚には湿度が関係していると考え、湿度と体感温度の関係を調べることにした。

## 2. 予想

### (1) 予想

湿度と体感温度は関係していて、湿度が高いほど体感温度も高くなると思う。

### (2) 理由

雨の日の翌日はジメジメしていて、実際より感じた気温の方が高かった。ジメジメしているということは湿度が高いということだから、湿度が高いほど体感温度が高くなると思う。

## 3. 実験

### (1) 用意する物

・温度計 ・湿度計

### (2) 方法

①自分で感じた体感温度を記録する。

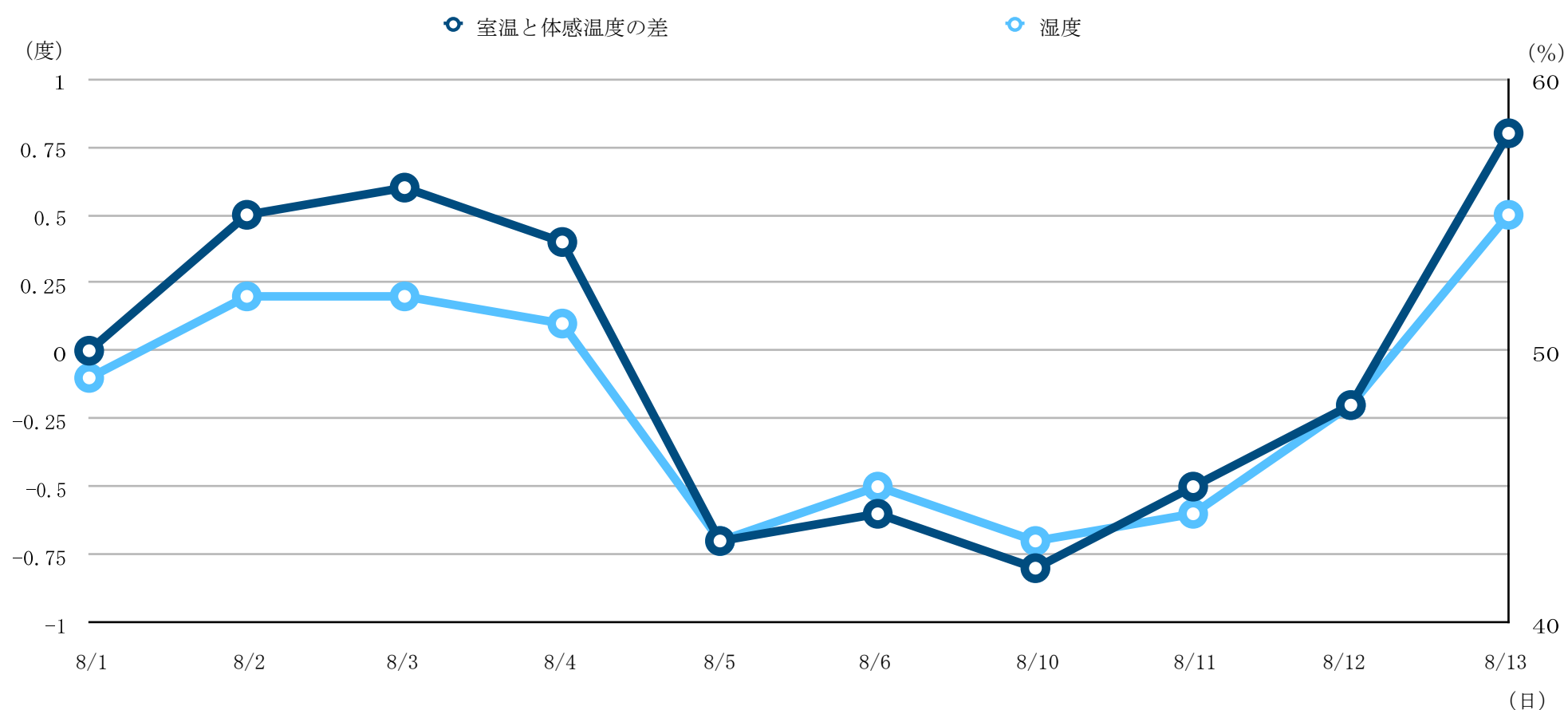
②①の部屋で室温と湿度を記録する。

※直射日光が当たらない場所に室温計を置く

※毎日同じ部屋・時刻に記録する。

## 4. 結果

日	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/10	8/11	8/12	8/13
体感気温 (°C)	31.5	30	31.5	32	29.5	31	34	31	28	26
室温 (°C)	31.5	29.5	30.9	31.6	30.2	31.6	34.8	31.5	28.2	25.2
湿度 (%)	49	52	52	51	43	45	43	44	48	55



## 湿度と体感温度の関係

### 5. 分かったこと

予想どおり湿度が高いほど体感温度は高くなった。また、室温に関わらず湿度が高いほど体感温度が高くなっていることから、湿度と体感温度の関係に室温自体は関係していないとも考えられる。

### 6. まとめ

今回の実験で湿度が高いほど体感温度が高くなることが分かった。人間にとって快適な湿度は40%~60%だと言われている。だから、夏も冬もそのぐらいの湿度になるように生活したい。例えば湿度の高い梅雨の時期は窓やドアを開けて湿気を逃がしたり、エアコンを使う時は除湿機能を合わせて使ったりして、湿度を下げて快適に生活したい。湿度の低い冬は、濡れたタオルを干して湿度を上げて生活したい。そして、次は湿度以外に何が体感温度に関係しているのかを調べてみたい。

### 7. 参考文献

*Sanwa company online store*

[https://www.sanwacompany.co.jp/shop/app/contents/concierge\\_detail/SC0038/](https://www.sanwacompany.co.jp/shop/app/contents/concierge_detail/SC0038/)